

離婚協議書

夫〇〇〇〇（以下「甲」という）と、妻△△△△（以下「乙」という）とは、本日、下記のとおり合意した。

記

第1条（協議離婚、親権）

1 甲と乙は、本日、

- 長男・長女 _____（平成 年 月 日生）、
_____（平成 年 月 日生）、
_____（平成 年 月 日生）

の親権者を（いずれも）【父・母】である【甲・乙】と定めて協議離婚することを合意し、離婚届に署名押印したことを確認する。

2 【甲・乙】は前項の離婚届を【乙・甲】に託し、【甲・乙】は、

- 速やかに
 平成 年 月 日限り

離婚届を提出する。

第2条（養育費）

1 【乙・甲】は、【甲・乙】に対し、前条記載の子（ら）の養育費として、（1人につき）1か月あたり金 _____ 万円を支払義務があることを認め、これを平成 _____ 年 _____ 月から

- 同人が（それぞれ）20歳に達する日の属する月まで、
 _____ まで、

毎月 _____ 日限り、_____ 銀行 _____ 支店の _____ 名義の普通預金口座（口座番号 _____）に振込む方法により支払う。ただし、振込手数料は【乙・甲】の負担とする。

2 甲と乙は、甲、乙双方の経済状態、物価の変動、その他の事情の変更があった場合には、前項の養育費の額について改めて協議する。

第3条（面会交流）

【甲・乙】は、【乙・甲】に対し、【乙・甲】が第1条記載の子らと月 _____ 回（程度）面会交流することを認める。面会交流の日時、場所、方法は、子らの福祉を尊重して、当事者双方が協議して定める。

第4条（解決金・慰謝料・財産分与）

1 【甲・乙】は、【乙・甲】に対し、（解決金・慰謝料・財産分与）として金 _____ 円の支払義務があることを認め、これを

- 本日【乙・甲】に支払い、【乙・甲】はこれを受領した。
 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日限り、

平成 _____ 年 _____ 月から平成 _____ 年 _____ 月まで毎月 _____ 日限り月額 _____ 万円ずつ、

銀行 支店の 名義の普通預金口座(口座番号) に振込む方法により支払う。ただし、振込手数料は【甲・乙】の負担とする。

- 2 【甲・乙】は、【乙・甲】に対し、本件離婚に伴う財産分与として、別紙物件目録記載の
- 不動産を
 - 不動産の【甲・乙】の持分全部を分与する。
- 3 【甲・乙】は、【乙・甲】に対し、前項の不動産について、本日財産分与を原因とする(所有権・持分権)移転登記手続をする。登記手続費用は、【乙・甲】の負担とする。

第5条 (年金分割)

甲と乙との間の別紙年金分割のための情報通知書記載の情報に係る年金分割についての請求すべき按分割合を(0.5・0.)と定める。
(当事者双方は、年金分割事件の申立てをしない。)

第6条 (連絡)

甲及び乙は、互いの連絡先について、移転その他の理由による変更があった場合には、子(ら)の面会交流に支障のないよう、速やかに他方に連絡することに合意した。

第7条 (公正証書)

甲と乙は、本件離婚後速やかに、本件離婚協議書と同趣旨の強制執行認諾文言付公正証書を作成することに合意した。

第8条 (清算条項)

当事者双方は、本件離婚に関し、本離婚協議書に定めるほか、何らの債権債務のないことを相互に確認し、今後、名義の如何を問わず、互いに金銭その他一切の請求をしないものとする。

以上のとおり合意したので、本離婚協議書2通を作成し、甲乙各自署名押印の上、各自1通ずつ保有する。

平成 年 月 日

(甲) 住所 _____

氏名 _____ (印)

(乙) 住所 _____

氏名 _____ (印)

別紙

物件目録

- 1 所 在 _____
地 番 _____ 番
地 目 宅地・ _____
地 積 _____ 平方メートル
- 2 所 在 _____
家屋番号 _____ 番
種 類 居宅・ _____
構 造 _____ 造 _____ 葺 平屋建・ _____ 階建
床 面 積 1階 _____ 平方メートル
2階 _____ 平方メートル
階 _____ 平方メートル